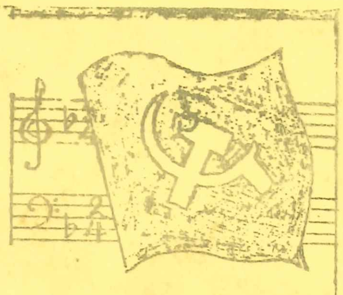

P.M.ニユース

No.28

日本
プロレタリア
音樂家同盟
市外上落合460.

一九三二年を積極的攻勢へ！

一九三二年初頭に於いてはすでに世界各国に階級闘争は益尖鋭化し世界経済恐慌の渦の中に資本家地主階級の死にもの狂ひの攻勢に備へて世界各地に吾が前衛は戦の火ぶたを切つた。その時にあたつて吾がPMは労働者農民階級と組みして如何なる果敢なる闘争がなし得るであらうか？

われ〳〵の現在の状態で果してどれだけ労働者農民階級のために役立ち得るであらうか？ 速やかに批判の眼を自己自身に向けて鋭い**自己批判**を下せ。

全同盟員研究生諸君。漫然と同盟に入つた者は無い筈であるのに漫然と同盟の仕事からはなれ、漫然と無届欠席を喰はせるのはどうした理なのだ。内至は一週二回の練習で月一回の総会と班会さへ漫然と出席すればわれ〳〵の仕事が終つたのだと思つたら大間違だ。

さうだ！ われ〳〵の仕事が練習と会合だけにあるのではないのは理り切つたことだ。だが然し労働者農民の差しのばされた手を堅く握ることが出来たか？

練習に依つてより高い**技術**を獲得しろ！

そのため本年度から技術批判会や種々な研究によつて技術とイデオロギーを高める事を計つてゐるが、勿論それだけでわれ〳〵の芸術が生産され、それだけがわれ〳〵の仕事が終つたと思ひ誤つてはならない。われ〳〵の芸術は闘争の実践に役立つて始めて其の任務を終るだし、闘争の実践からのみわれ〳〵の芸術の生産がなされるのだ。

技術と理論の獲得と共に実践へ！ 実践！

★ナップ誌代を完納しろ！
機関紙部確立万才！

第二回プロレタリア大音樂会を闘ひぬけ！

昨年六月われ〳〵が上野に音樂会を開いてから其の後の活動を積極的に重点を置いて活潑に労働者農民諸君と腕を組んで斗つて来た。此処にまた一九三一年の最後的斗争に組して三月初旬に築地小劇場に公開音樂会を開く。

そのために作曲班を始め合唱班、器樂班でも全エネルギーを音樂会に集中して猛烈に斗ひ續けてゐる。新しい合唱曲、ピアノクインテットを提げて素晴らしい元気で三月を待つてゐる。

第二回プロレタリア
大音樂会万才！

レコード吹込具体化す

レコードがどんなに大衆的であるか、支配階級はレコードで盛んにプロレタリアートを階級斗争の河向へおいやる為に利用してゐる。どれもこれも支配階級の利益にする様なものばかりだ。真にプロレタリアートの聞き得るレコードが一枚だってあるか。すでに前からわれわれの斗争歌のレコード出版が計画研究されてゐたが愈々、こゝに真のプロレタリアのレコードが出現する運びになった。P.M.レコードはやがて諸君の間に、労働者農民の間にわれわれの斗争歌を送る事が出来る。そして諸君の激励者として、慰安者として工場に農村に斗争の武器としてP.M.レコードはその力を発揮するのだ。

最近に活動用として三越の[illegible]の写真を利用する。残念ながらこれは一枚しか出来ないので諸君に配布する事が出来ない。だがP.M.レコードとして最初に吹込まれるのは「メーデー歌」だ。五月までには必ず間に合せる。之は全員によって合唱されるがその片面にはピオニールの歌が独唱される。その他のブルレコードと肩くらべだ。コロムビア、ポリドール、パルロフォンの中のいづれかを使ふ予定だ。定価及び会社が決定しだい発表予約募集をする。

P.M.レコード吹込万歳！

予約に応じる用意をしろ

第一回総合技術批判会より

一月四日われわれの第一回総合技術批判会が盛大に持たれた。最初の試としては非常に残念なことには器楽班のがピアノ一名とハーモニカ一名の他絃楽の演奏の無かつた事だ。他はほとんど合唱班のナンバーだ、約十名、次に其の日のプログラムを大体記す。

一、合唱、インタナショナル、
二、独唱、イ、勇者、ロ、狩人のうた、（山本）
三、全、くるめくわだち（河野）
四、ハーモニカ独奏、赤旗のうた、（北斗）
独唱、団結の力、
五、独唱イ、練習曲、ロ、光の国、（林）
六、全、里子にやられたおけい（南）
七、全、イ、「マルタ」より ロ、秋日のうたごゑ「シューマン」（露木）
八、ピアノ独奏、「ソナタ」ベートーベン、（向田）
九、独唱、「工女のうた」ロシア、（関）

以上のプログラムで皆熱心に各自の批判が下された。

終って茶話会を開き新しい斗争の意気を示し再びインタナショナルの合唱を以って散会した。

★戦旗一万八百円基金に応じろ！

一人三〇銭が半分しか集ってゐない様だ。

戦旗を守れ！

★第二回技術批判会

二月中旬

各自の演奏曲目を二月八日までに音楽部局まで提出しろ！

プチブル的手はかくしさうんな蹴とばしてしまへ！

プロレタリアートのための技術の正しき批判

各班の報告

作曲班

音樂会を目指して大童になつて合唱曲に器樂曲に全員總出で活動してゐる。合唱曲には露木君の「立毛押えに抗して」守田君の「おいらの春」原君の「同志」がある其の他作家同盟詩研究会との連絡のもとにロシアの曲その他外国斗争歌に詩をつける合唱曲がある。音樂会のためには守田君のピアノクヰンテット、ハーモニカ組曲がある。尚露木、守田の合唱曲はナルプ二月号に折込になつてのる筈だ。

書記局ヨリ

☆先に請求書を送つておいたが未だ同盟費を滞納してゐる者のが多い。音樂会にレコード吹込に益々忙しくなるこれから同盟の財政は極度に貧窮してゐる。

同盟費はその月の十日までに納入しろ！

階級的規律を守れ！

合唱班

新たに數名の同志を迎えて毎週二廻練習をたゆまず續けてゐる、一方作曲の研究も進歩を見せてゐる

器樂班

器樂班にも新しい同志を迎へてハーモニカに絃に音樂会を勇敢に斗ひぬく勢で最近一層猛烈に練習を開始した。

ナップ☆

二〇〇円基金募集

☆獨立万才！應じろ！。

☆一名二〇錢責任額だ！

☆〆切三月末日